

県立高校生グローバル人材育成事業 ふくいグローバルサークル（FGC） 活動報告書

20
25



令和7年度県立高校グローバル人材育成事業 概要

1 目的

校外の英語での交流や活動を通して、さらなる英語力の向上と自己のキャリアビジョンの形成を目指し、地域の良さを英語で発信できる「世界から福井に呼び込む」人材や、海外留学を視野に入れた「世界に羽ばたく」人材を育成することを目的に、学校の枠を越えて交流する高校生英語サークル「ふくいグローバルサークル (FGC)」を創設し、多様な活動を展開した。

2 活動内容

- キックオフミーティング
- 英語サマーキャンプ
- 県内で国際展開している企業との交流会
- 海外大学進学セミナー
- 福井県留学説明会
- 福井県国際交流協会主催および福井大学グローバル人材育成研究センター主催イベントへの参加

3 参加状況

県内全域の県立高校から137名の生徒が登録し、多くの生徒が主体的にプログラムへ参加した。

4 生徒の変化

- 英語に対する意識の変化
英語に対して、「難しくて苦手」から「楽しい」と感じるようになった
初対面でも臆せず対話できるコミュニケーション能力が向上した
異文化や多様性への理解が深まった
完璧さよりも、「伝える・聴く姿勢」を重視するようになった
英語学習への意欲が大幅に向上した
- 進路やキャリア観の変化
留学や海外で働くことへの興味が拡大した
学びたい分野が明確になり、志望学部の変更など進路の具体化が進展した

5 今年度の総括

英語力向上にとどまらず、国際的視野の広がり、コミュニケーション力やキャリア意識の成長が顕著で、未来の福井を支えるグローバル人材育成に確かな成果が見られた。

年間活動報告

日時	活動	活動内容	活動場所
5月8日ごろ～6月3日	サークル員募集	サークルメンバー登録（6月3日〆切） サマーキャンプ参加募集（5月22日〆切）	各校
6月14日（土） 10時～12時	キックオフミーティング	JETS率いる五十嵐先生の講演会や年間の活動計画の確認、親睦をはかるレクリエーション等を実施した。	福井県国際交流会館 多目的ホール
7月4日（金） 16時半～18時	【福井大学グローバル人材育成研究センター】 季節イベント 『セタパーティー』	福井大学グローバル人材育成研究センターにて福大留学生や学生スタッフとともにセタをテーマとしたアクティビティに参加した。	福井大学 文京キャンパス 学生交流センター
8月11日（月/祝） ～13日（水） 各日9時～16時	英語サマーキャンプ （含 海外大学進学セミナー）	外国人留学生と英語を使って3日間交流した。自分の個性や強みを生かして、より良い社会を形成していくために自分にできることを考えた。また海外大学進学に向けてのセミナーも同時開催した。	アオッサ601研修室
9月20日（土） 13時半～16時半	福井県留学説明会	留学に関心がある高校生およびその保護者に対し、留学に関する講演会や留学経験者による体験発表、奨学金紹介、個別相談会を実施した。	福井県国際交流会館
10月4日（土） 13時半～16時半	第1回 企業との交流会	県内のグローバル企業との交流会を通し、企業のグローバルな取り組みを学ぶとともに、社員との交流を通じ、具体的な業務内容を学ぶ交流会を実施した。	市民プラザたけふ （越前市）
10月19日（日）	福井国際フェスティバル	福井県・市町、国際交流関係団体、外国人県民など、様々な主体が連携し、開催された国際交流イベントに参加した。ワールドフェスタや世界の屋台村などが実施された。	福井県国際交流会館
10月26日（日）	REINAN国際交流のつどい	福井国際フェスティバルが嶺南地区でも開催され、外国人による民族衣装の試着や外国の踊りなどのパフォーマンスが実施された。	プラザ萬象
10月31日（金） 16時～17時半	【福井大学グローバル人材育成研究センター】 季節イベント 『ハロウィンパーティー』	福井大学グローバル人材育成研究センターにて福大留学生や学生スタッフとともにハロウィンをテーマとしたアクティビティに参加した。	福井大学 文京キャンパス 学生交流センター
12月13日（土） 13時半～16時半	第2回 企業との交流会	県内のグローバル企業との交流会を通し、企業のグローバルな取り組みを学ぶとともに、社員との交流を通じ、具体的な業務内容を学ぶ交流会を実施した。	福井県国際交流会館
12月19日（金） 16時半～18時	【福井大学グローバル人材育成研究センター】 季節イベント 『クリスマスパーティー』	福井大学グローバル人材育成研究センターにて福大留学生や学生スタッフとともにクリスマスをテーマとしたアクティビティに参加した。	福井大学 文京キャンパス 学生交流センター
1月9日（金） 16時～17時半	【福井大学グローバル人材育成研究センター】 季節イベント 『お正月パーティー』	福井大学グローバル人材育成研究センターにて福大留学生や学生スタッフとともにお正月をテーマとしたアクティビティに参加した。	福井大学 文京キャンパス 学生交流センター
1月中旬～2月中旬	リフレクション	今年度の活動の振り返りアンケートの回答、およびリフレクションレポートの提出	レポート提出 アンケート

令和7年度 ふくいグローバルサークル(FGC)リフレクションレポート

① ふくいグローバルサークルに参加して、自分の中で変化を感じたことは何ですか。また、どのプログラムが、その変化に一番影響を与えましたか。

【福井・坂井地区】 【1】年

私が、ふくいグローバルサークルに参加して自分の中で感じた変化は、英語を話せるようになりたいという気持ちが強くなったことと、英語が楽しいとより感じるようになったことです。今までは、英語は難しくて苦手を感じていた部分がありました。でも、グローバルサークルの活動を通して、もっと話せるようになりたい、自分の意見を伝えられるようになりたいと強く思うようになりました。

特にサマーキャンプの活動が一番影響を受けました。様々なトピックについて話し合い、お互いに意見を出し合う活動は特に楽しかったです。またこのような機会があればまた参加したいと思います。

【福井・坂井地区】 【1】年

FGCの活動の経験を通して自分自身が変化したと思うことを一つ上げると、「初対面の人とのコミュニケーション」だ。FGCの企画、特に福井大学主催の活動では、交友関係などを考慮せず最初にグループが分けられ、話したことの無い他の学校の高校生や外国人とのグループでアクティビティをともにしていくことになる。その際は、人見知りをしないことは不可欠であり、最初からお互いに心を開き、心を通わすことが必要であった。知らない人たちとグループを組むことで、初対面でも心を開き、活発にコミュニケーションをしていくという力が身についたと考える。

一番印象に残っているプログラムは、10月19日の福井国際フェスティバルである。上のホールに様々な国のブースがあり、それぞれの母国の方からお話を聞いて世界についてより知見を深めることができた。タイのスペースでは、フレンドリーな交流ができ、少しタイ語の言葉も交わすことができた。このことが、タイ語を学ぼうという気持ちにつながった。

このようにふくいグローバルサークルの企画・活動に参加することを通して、英語だけでなく、コミュニケーション能力や対話の力などが身についたし、世界への関心を広げることに直結したと感じている。

【福井・坂井地区】 【2】年

私はグローバルサークルへの加入を機に視野が広がったと思った。多くの人と関わることのできる機会なので、自分とは違うところを見つけられるのはもちろん、自分が今までに出会ったことのないような高校生たちにも出会えて、人間関係においての新たな視野を得ることができた。

特にサマーキャンプでは、3日間を通して新しい人々と関わる機会だったので、多くの学びや新たな視点を獲得することができた。グループリーダーはそれぞれ別の国から来ているので、見た目はもちろん違えば、母国語も文化も違うので、国の違いを実際に肌で感じつつも、それでも英語というひとつの言語で多くの国の人が繋がることのできるんだ、と改めて実感した。だから、私はこの経験を通して、視野が広がったのと同時に英語の力についても改めて感じた。

【 丹南地区 】 【 2 】年

今回の福井グローバルサークルの活動を通して、異文化交流に対する自分の姿勢が変化したと感じています。以前は英語で話すことに不安がありましたが、共通の遊びを通して自然に会話ができることで、積極的に自分の考えを伝えようとする意識が高まりました。

また、相手の話を理解しようと丁寧に聞く姿勢も身につきました。この経験により、異文化交流への自信が深まり、今後も前向きに挑戦したいという気持ちが強くなりました。

【 福井・坂井地区 】 【 2 】年

私は、ふくいグローバルサークルに参加して、誰とでも怖がらずコミュニケーションをとれるようになったと感じます。なぜなら、サークルの活動に参加することで、多種多様な人々と関わることができ、自分の中に存在してしまっていた偏見から解放されたと感じたからです。

「福井大学グローバル人材育成センター季節イベント セタパーティー」のプログラムが、私の変化に一番影響を与えてくれました。このイベントでは、実際に海外からの留学生の方とお話しさせていただくことができました。このイベントに参加するまで、私は学校に勤めている ALT の先生しか、海外から来た方とお話しする機会がなく、私のインターネット・リテラシー不足もあり、インターネットからの偏った情報で、特定の国の方に対し偏見を持つようになってしまっていました。しかし、イベントで出身国を知らずに会話を楽しんだあと、出身国を聞いて、私は失礼ながら驚きました。というのも、私が偏見を持っていた国の方だったからです。この経験から、私は偏見が相手を理解しようとするための大きな壁となっていると感じました。

したがって、私は「偏見」との付き合い方が変わったことで、コミュニケーションを誰とでも心から楽しめるようになったと感じます。

【 嶺南地区 】 【 2 】年

ふくいグローバルサークルに参加する前は、物事を自分の経験や価値観を基準に考えることが多く、意見の違いに戸惑うことがありました。プロジェクトの中で海外の人と交流する機会があり、同じテーマでも文化や背景によって捉え方が大きく異なることを実感しました。その経験から、「正しいかどうか」で判断するのではなく、「なぜそう考えるのか」を理解しようとする姿勢へと変化しました。

特にディスカッション活動が大きな影響を与えました。自分の考えがうまく伝わらない場面を重ねる中で、相手の立場を踏まえて考え直す力が身につき、学びとは、答えを得ることではなく、対話を通して深めていく過程に価値があると感じました。

【 奥越地区 】 【 2 】年

私は、自分に自信を持つことを学びました。普段の自分はもちろん、特に英語を喋っているときの自分に自信がありませんでした。うまく言えない自分に不安を感じたり、英語を話すことに恐怖を感じたりすることもありました。ですが、先生に勧められて FGC の活動に参加して、英語で外国の方と話す機会が増えたことで、少しずつ自分の英語に自信が持てるようになりました。自信が持てると、もっと話してみたいと思えて、英語の上達につながるいいサイクルだったと思います。

特に自分の中で一番印象に残っているのは、キックオフミーティングです。堂々と輝くジェッツの姿や、他の高校生の堂々と英語を話す姿を見て、刺激を受けました。英語だけでなく、自分の普段からの生活意識にも変化が現れたところが、自分にとってとても良い経験だったと思います。

【 福井・坂井地区 】 【 1 】年

私は1年間 FGC のメンバーとして活動し、普通の学校生活では得られないことを得ることができました。1つ目は、他校の生徒と関わることの楽しさです。キックオフミーティングに参加する前は、上手く話すことができなくて楽しくないだろうと思っていました。ですが、FGC の活動に参加するにつれ、徐々に初対面の人と関わることの楽しさに気づくことが出来ました。

2つ目は、外国の方との交流の重要性です。今年の夏に行われたサマーキャンプを経て、外国の方との交流の大切さを知りました。最近、国際情勢の変化が激しいと思います。日本国内でも多文化共生や国際関係についての問題が起きています。これらの問題を解決するには、友好的な姿勢で交流するとともに、お互いの文化を尊重し、理解することが必要だと考えるようになりました。

3つ目は、英語の必要性と重要性です。英語は世界共通言語であり、たとえ AI が発達しても、私たちが英語を使える必要があると思います。それは、AI が曖昧な翻訳や間違っただけの翻訳をしてしまう可能性があったり、AI では口調、表情を理解することができなかつたりして、誤解を生む可能性があるからです。もし間違っただけの返答をしてしまえば、相手との信頼関係が崩れると思います。

私は、来年度も FGC に入り、昨年参加できなかった活動に積極的に参加し、新たな学びを得ようと思いました。

【 丹南地区 】 【 2 】年

まず初めに、私は英語が苦手です。テストや模試などで良い点数は取れないし、学校の授業で英語を話すことをメインとする授業がある曜日は、学校に行くのが億劫になるほどです。そんな私がふくいグローバルサークルに参加しようと思ったきっかけは、英語に対する苦手意識を少しでも軽減したいと考えたからです。友人も参加するとのことだったので、思い切って参加しました。

私が参加した「企業との交流会」は、私が想像していたよりもずっと楽しく柔らかな雰囲気、とても居心地が良かったのを覚えています。そこで学校も学年も異なる生徒や、企業の方々と話をする中で、自分とは違った視点や考え方を多く知ることが出来ました。とても貴重な経験になりましたし、何よりも、以前までとは違い、自分の考えを伝えたり、国際的な話を聞いたりすることが楽しくなりました。これらの変化を実現してくれたのは、優しく、丁寧に話をしてくださった様々な企業の方や、楽しくコミュニケーションを取れるような企画、運営をしてくださったふくいグローバルサークルの方のおかげだと考えています。

【 福井・坂井地区 】 【 1 】年

私はふくいグローバルサークルに参加して、英語をより学び、使えるようになりたいと感じた。私はサマーキャンプに参加し、自分の英語の実力が全然足りないということがわかった。それと同時に、グループ内で話し合いをした時に、自分の伝えたいことが伝わったときの嬉しさが得られた。

私は、3日間を通して、他校の生徒と交流し、良い刺激を受けることができた。また、グループ活動が多かったこともあり、英語を話す機会がたくさん得られ、普段の学校の授業とは違った方法で英語に触れることができ、英語を学ぶ楽しさを感じられ、このプログラムに参加して良かったと思う。プログラムで得られたことをこれからの生活で活かしたい。

【 福井・坂井地区 】 【 2 】年

私は七夕のイベントとハロウィンのイベントに参加しました。このサークルに入る前は、外国の人たちのイメージとして「怖い」ということが真っ先に浮かんできました。しかし、キックオフミーティング、福井大学での国際交流に参加し、外国の人たちと関わる機会が多くなるたびに、自分が思っていたより怖いことはないなどと思い始めました。外国人の方はすごくフレンドリーで、私が緊張して話し始めることができなかつたときに、日本について質問してくれたり、自分の国について教えてくれたりしました。その時に外国の人たちのイメージがガラッと変わり、積極的に関わりたい、もっとこのような交流の場に参加したいと思ったし、英語を学ぶことに対して、より興味を持つことができました。

私は、将来英語の先生になりたいと思っています。教育学と外国語学の進路選択ですごく迷っていました。でもこのサークルを通して、外国の人たちと関わることの楽しさを改めて実感し、留学や英語の専門的な知識をつけたいと思い、外国語学部や外国語大学の方に興味を持つようになりました。参加してから外国人の方たちのイメージも変わり、進みたい進路も明確になったきっかけを作ってくれたので参加できて良かったです。

【 奥越地区 】 【 1 】年

変化を感じたことは、「英語を話す」時の意識が変わったことです。普段の学校生活では授業中や ALT の先生と英語で話す機会はあったものの、特に多いわけではなかったので、英語をしゃべる時にいつも緊張していて、文法を正しく扱うことに意識を割いてばかりいました。しかしサマーキャンプを通して、英語を話すときはそこまで身構えなくてもいいということがわかりました。もちろん英文法が完璧であることに越したことはないですが、それよりも、伝えようとする意思が大切だと思いました。そのため、語彙を増やすために英単語をより学習したいと思いました。

【 嶺南地区 】 【 2 】年

私に変化を感じた事は英語に対する意識です。私は、外国に興味があるけど、英語が苦手な事が課題でした。私が参加したキックオフミーティングでは、初めて他校の生徒の英語力を目の当たりにし、自分の英語力が低くて少し恐怖心を持ってしまいました。しかし、交流する中で、私が話せなくても皆が最後まで聞いてくれる姿に、頑張ってみよう、聞き取れない英語も表情や話し方から理解しよう、という意識に変わりました。

また、実際にあんなに沢山の外国の方と話すのは初めてで、色々な所から英語が聞こえてくる環境がとても刺激的でした。学校に戻ってからは英語力の向上につとめました。このように、苦手意識があった英語が、他校にはこんな話せる人がいて、怖がらなくていいんだと感じた事で、苦手意識が少なくなりました。

【 丹南地区 】 【 2 】年

私は夏のサマーキャンプに参加したことが一番印象に残っています。顔見知りの方が一人もいない状態で始まって、初日は友達を作るところから始まりました。私が初対面の人に対して話しかけるのが得意だということに気づけたのは、このサマーキャンプのおかげです。

キャンプでは、各グループに一人の外国人ファシリテーターがいて、そのファシリテーターの指示のもとに話し合いを進めました。ファシリテーターは日本語を話せないので、英語を使うことを余儀なくされ、はじめはみんな緊張して、なかなか話し始めることができませんでした。しかし、自信がなくても勇気を出して話すことを続けていくうちに、気づいたらグループの全員がバランスよく話せていました。ハードルが高いと思っていたことがいつのまにかできるようになっていたのも、今となっては凄いことだったと感じます。

また、そのようにみんなが話せるようになったのは、最初の英語を話すハードルが低かったことも挙げられます。どんなに拙い英語でもファシリテーターは私達の英語を理解しようと努めてくれたし、私達がわかるようなわかりやすい英語を使って話してくれました。だから、次第に自分が話す英語に自信を持てるようになりました。

【 福井・坂井地区 】 【 1 】年

私は大学では国際系の学部に行きたいと思っていたので、加入当時から国際について詳しくなれたらいいなと思っていました。実際に入ってみて、海外の人と交流してみると、意外に国際系以外に興味を湧きました。

まず、参加して自分の悪いところだと感じたのは、10月の福井国際フェスティバルに行ったときに英語圏出身の人とは割と気楽に会話できたけれど、英語以外の言語を公用語としている国出身の人を見ると、自然とその人との間に自分が壁を作ってしまったことです。そのことがきっかけで、私は人間の無意識のうちの行動に興味を持ち、現在は心理学や行動経済学が学べる大学を志願しています。

このような新しい発見を得られるイベントを開催して下さったことに感謝しています。

【 奥越地区 】 【 1 】年

サマーキャンプに参加したことで、自分の英語力の無さを改めて実感しました。しかし、落ち込まずに前向きな気持ちで「もっと英語を勉強しよう」と思うことができました。それは、同世代の高校生と関わり、「こんなにも英語を話せるのか」と感銘を受けたからです。

また、英語の面だけでなく、私自身の成長にもつながったと思います。初めて出会う高校生と3日間作業をするというのは、人見知りの私にとっては大きなチャレンジでした。しかし、実際は楽しく過ごすことができました、良い時間だったと思います。これは自分の中で大きな出来事でした。サマーキャンプから多くの刺激をもらい間違いなく、私にとって良い経験になったと思います。

【 丹南地区 】 【 2 】年

他校の全く知らない人たちと会話をするのはとても楽しく、自分の英語力がまだまだであることを知ることができ、他の高校生の英語力のすごさに圧倒されて、自分も頑張ろうと思えました。また、自分のターニングポイントなどを伝え合う機会があり、そこで、いろいろな視点や価値観を知ることができ、見聞が広がったように感じました。

いろいろな活動をした中で、一番心に残ったのは、企業との交流です。私はいろいろな国で働きたいと考えており、海外で働くとはどのようなことであるかが気になっていたもので、とても有意義な時間でした。海外で働く中で必要なことは、語学力ではなく、コミュニケーション力であることがわかり、少し語学力に対する焦りや、緊張感がなくなったように感じました。実際、海外で働くと言っても、ニュースでよく見るような医師や看護師などしか知らず、他の場面でどう活躍しているのかがわからなかったので、自分の選択肢のなさが少し心配でした。

しかし、交流会で企業の方の話聞いて、海外で働くことには自分が思っている以上に可能性があることを知ったので、もっと色々な角度から考えて、自分の進みたい道を決めていこうと思いました。FGCに参加した同じ学校の人とも仲良くなれて嬉しかったです。

【 丹南地区 】 【 1 】年

私がふくいグローバルサークルに参加して変化を感じたことは、人との交流です。私は色々な人と交流した経験が少なく、キックオフミーティングの時はとても緊張しました。英語で話す事にも苦手意識があり、不安でした。しかし、参加している高校生もスタッフの方も優しく話しやすいだったので、初めての人でも話しかけることができる勇気をもらえました。

私が一番影響を与えたのはサマーキャンプです。同じ高校生の語学力と、率先して意見を述べている姿に圧倒され、英語の勉強を頑張ろうと思え、私も率先して意見を述べられるようになりたいと思いました。

【 嶺南地区 】 【 1 】年

私が今回、この福井グローバルサークルに参加した理由は、英語が苦手だったためです。そして、それと同時に英語への苦手意識を無くそうと考えたためです。

これまで、自分が英語に触れてきて、学校の ALT とは話す機会がありましたが、ネイティブの方々と話す機会はすごく少なかったです。今回参加した夏のサマーキャンプでは、3 日間という期間でじっくり英語と向き合うことができました。英語というと、自分の母国後ではないので、自分にとって関係のないものだと思っていましたが、留学生の方々と英語で話していく中で、他国の人々と通じ合って、たくさん会話をするのはとても面白いなと思いました。そして英語への苦手意識がなくなりました。

【 福井・坂井地区 】 【 1 】年

私は、企業との交流会に参加した際、海外支店のことや、外国人を対象とした企業ごとの取り組みの紹介を聞きました。私は、海外で働くことについて少し興味がありましたが、同時に労働環境や外国の方と協同で働くことに対して懸念もありました。

しかし交流会参加後、海外で働くことの大変さや多角的なアプローチの必要性、福井の魅力について知ることができ、海外で働くことに対する興味が増しました。特に印象に残っているのが、業種ごとの海外支店の違い、他企業との連携、Instagram の活用により活動の拡大を図っていた点についてです。各企業の取り組みにより、福井県自体の地域活性化にも繋がっているのだと感じました。

【 丹南地区 】 【 1 】年

ふくいグローバルサークルに参加し、自分の中で「働くこと」に対する考え方が変化したと感じる。

私は 10 月 4 日に開催された、「企業との交流会」に参加した。この活動では、普段業務の話聞く機会の少ない業種の方々から、企業での具体的な取り組みや、社員の方がその仕事に就くまでの経緯、今後の目標などについて直接話を聞くことができた。特に、仕事に対する想いや熱意、これまで積み重ねてきた努力を知ったことで、働くことは単なる義務ではなく、自分の価値観や目標と深く結びついているものだと感じた。

この活動を通して得た多角的な視点を、日常生活でも多様な考えを尊重する姿勢として生かし、身の回りの出来事を自ら考える習慣を身につけていきたいと思う。

【 丹南地区 】 【 2 】年

福井グローバルサークルに参加して自分の中で一番変化したことは、英語を話せるようになることが最終目的ではなく、英語を使って友達をつくったり、異文化の人と交流したりすることが目的だと実感できたことです。

そうなったきっかけは、イングリッシュサマーキャンプに参加したことでした。3日間、ほとんど英語のみでキャリア教育を受けたり、他校の学生やファシリテーターたちと交流して、完璧ではない英語でも、身振り手振りで伝える努力をしたり、好きな音楽や趣味を共有することで、出身や母国語が違っても一体感を感じることができました。その感覚が、言語というものやコミュニケーションの大事さを改めて感じさせてくれました。

【 丹南地区 】 【 1 】年

私は、今まで人見知りで、初めて会う人と話すのが苦手でした。また、間違うのが怖くて、発言できませんでした。しかし、この FGC の活動を行っていくうちに、少しずつ自分の性格が変わっていきました。

例えば、最初は同年代の人としか話せなかったのが、大人の方や外国人とも話せるようになったり、自分からでも話しかけられるようになったりしました。また、分からない単語などがあつたら、積極的に他の人に聞くことができるようになり、自分が知っている単語だけで、文法が間違っている、相手に少しでも内容が伝わるように努力しようと思えるようになりました。

【 丹南地区 】 【 1 】年

英語サマーキャンプや留学説明会への参加は、私の内面に大きな変化をもたらしました。以前の私は、英語を単なる「受験科目」として捉えており、文法や語彙の正解を求めることばかりに固執していました。しかし、実際に英語で意思疎通を図る人々の姿を目の当たりにし、言語の本質は他者と繋がるための「道具」とであると痛感しました。

この経験を通じて、失敗を恐れずに発言する勇気が芽生え、未知の世界に対する好奇心が強まりました。また、説明会で聞いた異文化体験の話は、日本という枠組みを超えて物事を考える広い視野を与えてくれました。今では、英語を学ぶことが自分の可能性を広げる冒険のように感じられ、学習に対するモチベーションが飛躍的に向上しています。

② ふくいグローバルサークルに参加しての感想や、得た学びについて自由に書いてください。

【 奥越地区 】 【 1 】年

高校に入学していろいろチャレンジしてみようと思いこのサークルに参加しました。私が参加したすべての活動に外国の方がいて、英語でコミュニケーションをするというとても貴重な経験ができたと感じています。自分が普段話していない言語で会話をするというのは難しかったし、不安もあったけれど、このコミュニティでは、全員が同じように英語に対して意欲的で前向きだったので、私も安心して話すことができました。

グローバルサークルに参加して感じたのは、世界には本当にいろいろな人がいてみんな個性がある、ということです。これまで私はなぜか「英語を話す人はみんな明るくて人見知りもしないような人」というイメージがありました。しかし、実際サマーキャンプで何人かのグループリーダーと話してみて、とても明るくて元気な人もいれば、少し恥ずかしがりの人や寡黙でクールな人、ユニークな人など、みんなそれぞれ違うんだと気づきました。これは私にとって、「外国人」として一括りにしないで一人ひとりをきちんと見る事が大切なんだ、と感じた経験であり、新たな気づきでした。改めて1年間ありがとうございました。

【 丹南地区 】 【 2 】年

福井グローバルサークルに参加してみて、私は以前よりも物事を柔軟に考えることができるようになった気がします。以前は一つの視点でしかものごとを見ることができていなかったけれど、参加してみて、外国との交流は一つだけではないことを知りました。この経験により、外国に住んでいる人は私と住んでいる環境が違うので、当然、価値観や考え方が違うことを改めて知ることができました。

このような経験をもとに、私は、世界はグローバル化が進んでいるので、もっと柔軟に考えて対応できるようにしたり、事前に海外の人の考えや価値観などを調べて、相手に不快な思いをさせないように行動したりすることを大切にしたいと思いました。

また、英語の勉強も必要だと思うようになりました。話すことはもちろんですが、相手の話を聞くためにも、リスニング力も必要なんだなど、今回の話を聞いて感じました。

【 福井・坂井地区 】 【 2 】年

ふくいグローバルサークルに参加して、英語を少し好きになることができ、本当に良かったと思います。いろいろな外国人や他校の生徒と交流することで、同じ高校生の英語力のすごさに圧倒され、いい刺激になりました。英語で交流することで、無理矢理にでも英語を使う時間ができました。そこから英語のドラマを見たり、音楽を聞いたりするようになりました。

これまでは、英単語だけを勉強していて、あまり英語を使っていなかったのですが、実際に参加して、英語の構文なども前よりわかった感じがしています。この機会があって本当に良かったと思います。この経験を今後活かしていきたいです。

【 嶺南地区 】 【 2 】年

ふくいグローバルサークルでの活動を通して、まず大きく学んだのは「グローバル」とは海外のことだけを指すのではないということです。世界の出来事や社会課題は、福井の地域社会とも深くつながっており、私たちの身近な生活とも関係していることを知りました。例えば、人口減少や少子高齢化、環境問題などは世界共通の課題であり、他国の取り組みを知ることで、福井の未来を考えるヒントが得られることを学びました。視点を少し広げるだけで、物事の見え方が大きく変わることに気づきました。

活動の中では、英語での会話やディスカッションに挑戦しました。自分の意見を英語で伝えることは簡単ではありませんでしたが、「完璧でなくても伝えようとする姿勢」が大切だということを実感しました。また、言語だけでなく、相手の文化的背景や考え方を理解しようとする姿勢も重要であると学びました。自分の価値観が当たり前ではないことに気づき、多様性を受け入れる柔軟な考え方が身についたと感じています。

【 福井・坂井地区 】 【 2 】年

初めは英語で話すことに緊張することもありましたが、他のメンバーやALTの方などの温かい雰囲気のおかげで楽しむことができました。英語が流暢な人も少し苦手な人も、それぞれが自分の言葉で伝えようとする姿勢を大切にしていたからこそ、学校が違ってすぐに打ち解けられたのだと思います。私は自分から話しかけることが得意ではなかったのですが、個性豊かなメンバーを見て、仲良くなりたいという気持ちが大きくなり、声をかけて友達になることができました。このサークル以外にも学校外でアクティブに活動しているメンバーが多く、初対面でも会話が弾み、刺激を受けました。

新しい環境に踏み入れるのは勇気がいるけど、一歩踏み出せば、想像以上にたくさんの出会いや発見があると思います。今年度の活動は終わってしまっていますが、これからもあらゆる機会を逃さず、慣れないことでも恐れず挑戦できる人間でありたいです。

【 福井・坂井地区 】 【 2 】年

他校の生徒と多く関わることのできる機会なので、新たな交友関係を築くことができたのは大きな経験だった。今でもサマーキャンプで同じグループだった子達とは交流が続いている。サマーキャンプの3日間は、1日中英語を話していたので、毎日頭から英語が離れなくて、身についているんだと感じることができた。同時に、もちろんとても楽しい経験にもなった。多くの他校の高校生と関われる非日常感と、外国人留学生も混ざって英語で話す、という普段しないような経験ができたこと、グループみんなで協力しあって1つの課題を完成させていく、というのがとても楽しかった。

【 福井・坂井地区 】 【 2 】年

ふくいグローバルサークルで、海外について積極的に触れられる機会を用意してくださったおかげで、海外に対する興味がより大きくなりました。

私は英語が本当に得意ではないので、初めは、キックオフミーティングに参加するのも不安でした。しかし、コミュニケーションにおいては、普段学んでいる正確な英文法を重視するのではなく、相手にどれほど伝わりやすく話すか、ということが重視されていました。分からない単語があっても、身振り・手振りを使って相手になんとしてでも伝える。この経験はとても楽しかったです。本来、言語学習は楽しいものであり、会話を円滑にするために私たちは文法を学んでいるのだということ学びました。

【 丹南地区 】 【 1 】年

サマーキャンプや留学説明会に参加して最も強く感じたのは、自分の世界がいかに狭かったかということです。キャンプでは、同年代の仲間たちが不完全な英語でも必死に自分の考えを伝えようとする姿に圧倒されました。言葉が完璧でなくても、伝えたいという強い意志があれば心は通じ合うのだと肌で感じ、完璧主義だった自分の考えが打ち碎かれるような衝撃を受けました。

また、留学説明会で紹介された現地の生活や多様な価値観に触れ、日本での当たり前が通用しない世界の広さに胸が高鳴りました。単に語学力を向上させるだけでなく、異なる背景を持つ人々と共に過ごすことで、自分自身のアイデンティティを再確認する貴重な機会となりました。

この一歩を踏み出したことで、将来海外で挑戦したいという具体的な夢が明確になり、非常に充実した時間となりました。

【 福井・坂井地区 】 【 2 】年

他校の高校生や、外国人、大学生や大人など、たくさんの人と交流できることはすごく貴重な機会だったと思う。英語の力を身につけるだけでなく、様々な人の話を聞くことができ、自分の将来について深く考えるきっかけにもなった。

このサークルを通じて、初対面の人とも自分から積極的に話し、英語がわからなくても話そうという気持ちが強くなったと思う。この経験を大切にして、これからも英語や国際的なことを学び続けていきたいと思う。

【 嶺南地区 】 【 2 】年

ふくいグローバルサークルに参加し、学びに対する考え方が大きく変化しました。海外の参加者との交流やディスカッションを通して、同じテーマでも文化や背景によって捉え方が異なることを実感しました。以前は自分の考えが正しいかどうかを意識していましたが、現在は相手の立場や理由を理解しようとする姿勢を大切にしています。

また、自分の意見を伝える難しさと同時に、対話を重ねることで考えが深まる面白さも感じました。この経験から、学びとは知識を得ることだけでなく、他者との関わりの中で考え続ける過程に価値があると気づきました。

【 丹南地区 】 【 2 】年

見知らぬ相手と協力しあい、支え合って何か一つのことをするという経験ができてとても良かったです。私はサマーキャンプとクリスマス会に出席しました。どちらも、そこに行って初めて顔をあわせる人たちでした。事前の準備はありましたが、直接対面で会い、英語を少し使ってコミュニケーションをするのは、最初はためらうことが多かったです。しかし、そんな経験を通して、私のコミュニケーション能力が育っているという実感がありました。

私は以前から、国際的な文化にたくさん触れたいと思っていたので、この活動に参加ができて嬉しかったです。FGCのおかげで新しい人の輪ができて、日常では感じられない異文化体験ができました。残念だったのはほとんどの企画が学校行事と被ってしまっ行って行けなかったことです。もっと企画に参加できていたら英語を使う機会を増やせたのかもしれないので、悔しいです。

【 嶺南地区 】 【 1 】年

私はふくいグローバルサークルに参加して、英語を楽しいと思えるようになりました。また、外国の方々、話す機会は日常ではそう簡単には作れない機会なので、とても貴重な経験となりました。

夏のサマーキャンプで、グループでディベートをした際に、世界的に問題となっていることに対して、自分たちなりに解決案を考えていく中で、留学生の方々から、すごく共感できる意見や自分では思い浮かばないような意見など、様々な意見をいただいたときに、外国の人と交流することがすごく楽しいと感じました。

自分はずっと英語が苦手でしたが、今回のサークル活動を通して、失敗を恐れず自信を持って発言することがすごく大事だと思いました。これからも失敗を恐れず様々なことにチャレンジしていきたいです。

【 福井・坂井地区 】 【 Ⅰ 】年

私はふくいグローバルサークルに参加して、サポートしていただいた周りの方々に感謝したい。

サマーキャンプでは、私が上手く英語で伝えることができない時に、グループのメンバーが助けてくれ、グループリーダーが私の話すことを理解しようとしてくださって、活動しやすい環境にいただいた。そのおかげで、楽しく活動することができた。また、みんなで英語のスピーチ発表をしたことは、初めての経験だったが、その後の自分の学校での英語のプレゼン発表に活かすことができよかった。

これから、より英語に触れて、多くの人と交流を楽しんでいきたいと思う。

【 奥越地区 】 【 Ⅰ 】年

あまり多くの活動に参加はできませんでしたが、ふくいグローバルサークルに参加して、他校の高校生や大人の方とふれ合ったことで、自分の視野が広がったと感じました。特にサマーキャンプでは、環境問題についての議論があり、意見を交換しました。私はよく、議題を難しくとらえてしまうせいで、うまく意見を出すことができない癖がありますが、メンバーの意見を聞いてみると「そういった考えでもいいんだ」と、自分の中での新たな視点を見つけることができたと思います。

また、他校の生徒や外国出身の方と話すことで、自信をもって話すことができるようになりました。

【 奥越地区 】 【 Ⅰ 】年

初対面の人や留学生の人と英語で関わることができ、コミュニケーション力や英語で伝えたいことを伝える力がついたと思います。サマーキャンプに参加して、福井県内の高校生と関わることができ、もっと英語を頑張ろうと思えました。自分では思いつかないような意見や考えを持っている人が多くて、自分の視野が広がったと思います。また、留学生の人たちとも関わる事ができて、それぞれの経歴やなぜ日本に来たかなどを聞けて、とても興味深かったです。

ほぼ一日英語で話すというのはなかなかできない経験で、最初は不安だったけれど、正確な英語でなくてもいいから言いたいことを伝えようという気持ちで話せるようになって、とても成長できたと思います。

【 丹南地区 】 【 Ⅰ 】年

ふくいグローバルサークルに参加する前は、英語が苦手の間違ってしまうことも多いため、間違えることに少し恐怖心を抱いていました。しかし、ふくいグローバルサークルに参加して、そこに参加している外国の人たちは、私の英語が間違っている、何を言いたいのか理解して優しく教えてくれたので、英語は苦手でも、間違えることへの恐怖心が以前よりなくなりました。それとともに、自分の話す英語が思ったより周りの人に伝わって嬉しかったです。

また、新しい発見にも気づくことができたので英語についてもっと勉強してもっとスムーズに英語を話せるようになりたいと思いました。

【 福井・坂井地区 】 【 1 】年

ふくいグローバルサークルに参加して、世界の身近さを学びました。特に、企業交流会では、私がお話を聞いた4つの企業すべてが海外にも目を向けていて、研修で海外に行っていたり、事業を海外に展開したりしていました。この話は、私も海外に行って海外について知りたいという気持ちを湧きあがらせてくれました。私は、海外は遠いと感じるものでしたが、思っているよりも身近なのだとわかりました。実際、日本にも海外からきて生活している人も多いため、ALTの先生などを含めてもっと交流してみたいと思いました。将来海外に行ってみるためにも、より英語の勉強を頑張りたいと思います。

【 福井・坂井地区 】 【 2 】年

福井大学で行われた国際交流イベントは、私の中ですごく学びのあるものになりました。こんなにたくさんの方々と話したのは人生で初めてで、貴重な経験になりました。

イベントでは、外国人の方と日本のことや相手の国のことについてお互いに紹介し合ったり日本語を教えたりしました。ゲームを通して仲良くなると、あまり言語の壁を感じすぎずに仲を深めることができました。言語をお互い理解できなくても伝わったことが多かったのも、これからや将来仕事で外国の人たちと関わる場面があったらこのことを意識して関わっていきたいです。

【 福井・坂井地区 】 【 1 】年

私はこのサークルへの参加を通じて、福井県内の多くの人々と知り合うことができ、自身のコミュニティの広がりを実感し、自分の知識や興味の幅も広がりました。これからの社会で外国人と共同で作業することが必要になる中、高校生のうちから参加できるプログラムがあることは、県民の未来の選択肢を広げ、福井県の活性化につながる良い活動だと強く感じています。

私自身も、留学説明会やサマーキャンプを通じて、留学への興味が一層増しました。将来は海外で、福井県の貢献になるような活動をし、地元へ恩返しをしたいです。

【 丹南地区 】 【 2 】年

ふくいグローバルサークルに友だちに誘われて応募したとき、私は楽しみよりも不安の方が、頭の中を占めていました。しかし、最初のジェッツの先生の話聞くことで、私の中を占めていた不安が、海外といった知らない場所への好奇心へと変わりました。他校の人たちと交流し、外国の方と英語を通して会話できたとき、海外への興味がさらに育ち、海外に行きたいという強い思いを抱えるようになっていきました。ふくいグローバルサークルで培った勇気により、地元の海外研修に参加し、アメリカに行く経験を得ることができました。

私は、ふくいグローバルサークルで素晴らしい人たちとの交流を通して、協力する難しさと楽しさを学ぶことができました。

ふくいグローバルサークル（FGC）キックオフミーティング実施報告

1 実施日	令和7年6月14日（土）
2 会場	国際交流会館 地下1階 多目的ホール
3 日程	10：00 開会 教育長あいさつ
	10：10 講演 福井商業高校 JETS 顧問 五十嵐裕子先生 「いつだって人は変わる～笑顔の力～」 質疑応答
	11：05 サークルの説明（事務局）
	11：15 ワークショップ（ALT参加）
	11：50 終了、アンケート

4 参加者の感想（一部抜粋）

- たくさんの学校の人と話せて貴重な体験になりました。
- 五十嵐先生の講演をうけて、自分から挑戦してみたいと思えた。自分の夢を叶えるためにこの夏、色んなことをやってみたいと思う。
- もっとFGCの活動に参加したいと思った。
- いつもは英語で話すことに躊躇して、すらすらと話すことができなかったけれど、今回はみんなが積極的に話そうとしていたので、自分も頑張ろうと思えて、色々な人に話しかけにいったことです。ALTの方にも話しかけることができたので、学校でも話しかけようと思いました。
- 五十嵐先生の講演を聞いて、笑顔のトレーニングを意識的に心がけようと思った。また、国際交流できるチャンスを積極的に掴みに行きたいと思った。
- 分からなくてもとにかく英語で喋って、コミュニケーションを取ってみることが楽しいとわかりました。今後も、よりコミュニケーションをとることに挑戦していきたいと思います。
- 英語を使ったワークショップで、英語が苦手な私でもいろいろな人とたくさん話すことが出来たので、楽しかったし、有意義な時間になりました。今後、英語を楽しんで勉強するように心がけようと思います！
- 普段できない他校の子達との交流や、ALTなどの英語の流暢な人達とも話すことが出来て、自然と英語を話すことが出来たし、より英語を勉強しようと思えるきっかけになった。
- 緊張して文法が誤っている英語でも、言いたいことを汲み取ってくれて、コミュニケーションが取れたことがとても楽しかったです。もっと発音を気にせず話せるようになりたいです。
- JETSの方がみんな終始笑顔で、私も笑顔になれました。また、夢ノートを私も作ってみたいと思いました。失敗を恐れず、これからグローバルサークルで積極的に他校の人と対話したいです。
- みんなが英語に興味のある子たちばかりだったから、学校で英語で話すのはちょっと躊躇していたけど、ここでは自分を出せてたくさん英語を話すことができたので、とても楽しかったです。
- 自分は英語を話すことが苦手だと思っていたけど、今回の活動を通して、意外と話せることに気づけました。



ふくいグローバルサークル（FGC）サマーキャンプ実施報告

- 1 実施日 令和7年8月11日（月）～13日（水）
 2 会場 福井市地域交流プラザAOSSA（アオッサ）6階研修室601
 3 日程

	8月11日（月）	8月12日（火）	8月13日（水）
8:45～9:00	受付		
9:00～9:50	開会・オープニング	グローバル化とキャリア	グループ内の個人発表
10:00～10:50	世界について知っていること	技術革新について	グループ発表に向けて①
11:00～11:50		ゲストスピーカー講演	
11:50～12:45	昼食・休憩		
12:50～13:40	自分と世界のつながり	グループリーダーのプレゼンテーション	グループ発表に向けて②
13:50～14:40	自分の個性について	自分の個性を反映するキャリアについて	グループ発表
14:50～15:40	グローバル化とは		クロージング

4 参加者の感想（一部抜粋）

- 今回のプログラムで自分の将来について考えるいいきっかけになった。これからもこのようなイベントに参加していきたい。もっと英語のスキルをあげて、海外の人とのコミュニケーションを頑張りたい。
- 未来や人生について知れてよかったし、英語を身近に感じられた。新しい友達がたくさんできて楽しかった。
- 私は海外留学をしたいと考えているので、とてもいい機会だった。今後はグループリーダーが言っていたように、諦めずに挑戦し続けたいと思う。今後、外国の人とたくさん話したいと思った。
- 私は今回の経験で、何ヶ国語も話せるグループリーダーのように、他の言語の勉強にも挑戦したいと思えた。また英語をもっと勉強して、今後このような活動にもどんどん参加していきたいと思った。
- このプログラムを通して、英語の苦手意識がなくなった。これからもチャレンジをし続けて、自分に大きな自信をつけていきたい。今回のプロジェクトで手に入れた広い視野を進路決定において役立てていきたい。
- 今回の体験で、海外に行ってみようという思いが強く芽生えた。初めは少し疲れたが、だんだん英語で話すことに慣れて、英語で話すことが楽しくなったので参加して良かった。
- 思っていた何十倍も面白くて、また来年もあるなら参加したいと思う。
- この三日間は非常によい経験ができた。自分の将来について考えることは、今まで避けてきたので、この三日間で自分の将来について考えることができ良かった。
- 英語で自分の言いたいことを伝えようとするのはとても難しかったが、難しいながらもグループメンバーと助け合いながらたくさんのディスカッションができて、とても良い経験になった。これから生きていく中で大変なことはたくさんあると思うが、笑顔でいることとポジティブに

物事を見ることを忘れないで、前向きに何事も挑戦していきたい。

- 私には将来英語教師になりたいという夢があって、その夢がより強くなった。いずれは自分が教師として、ファシリテーターのように前に立ち、英語を英語で伝える側になりたい。
- 私は今回のプログラムでは心が鍛えられたと思う。失敗を恐れないことを大切に、純粋に楽しんで英語を話せるようになったと思う。I can do it!!
- もっと英語でいろんな人たちと話してみたいと思った。また、英語を話すことを怖がらずにもっと自分の意見を積極的に言って、違う意見も尊重できるようになりたい。
- 今回のプログラムでは、自分の英語力を試せだけでなく、これまで出会う機会がなかった他校の生徒との交流で、良い刺激を受けられた。自分は英語に自信を持っていたが、自分よりももっと上手く発音できる人や、自然に英語が出る人などと出会い、自分の英語力の向上意欲が高まったなと感じた。内容に関しても、自分の将来を英語で表現するところで、将来についてより明確なビジョンを持てた。今後は、将来の進路や留学に活かしていきたい。



ふくいグローバルサークル（FGC）「第1回企業との交流会」実施報告

- 1 実施日 令和7年10月4日（土）
- 2 会場 市民プラザたけふ 3階 多目的室1
- 3 日程 13：30～13：40 開会、あいさつ、日程説明
13：40～14：40 企業の業務内容の説明
14：40～14：55 休憩
14：55～16：05 社員と高校生との交流会
16：05～16：10 ディスカッションの共有
16：10～ 終了、アンケート
- 4 参加企業 ・グランディア芳泉株式会社 ・日華化学株式会社
・ふくいヒトモノデザイン株式会社 ・福井鋳螺株式会社

5 参加者の感想（一部抜粋）

- 全ての話を聞いて、様々な業種でのPR方法には違いがあったが、福井の魅力を発信したいという点では、共通していたので、面白いなと思った。
- 自分の将来の話や夢や目標の話をして、講師の方々が今までどのようなことをしてきたかなどを聞き、なるほどと思える発見がたくさんあった。
- 各企業の取り組み方針や、同年代の他の学校の人たちとの違いを認識できた。
- 同じ年代の高校生、人生の先輩である大人の方から様々な視点から話を聞いて、自分の進路選択に刺激があった。
- ホームページや概要では得られない情報を実際の会社の人から聞いてよかった。
- 私たちの探究活動のテーマである「福井を発信する」という点において、多くの企業も同じような課題を持っているということがわかり、参考になった。
- 福井の魅力の話の中で、今まであまり感じてこなかった魅力の話ができて楽しかった。
- 「自分の好きを突き詰めて、挑戦をあきらめない。」という言葉。講師の方々が、様々な困難を乗り越えてきたからこそそのありがたいお言葉だなと感じた。
- 自分自身が日本の文化を知らないとお客さんに文化を教えることができないということが印象に残った。
- 海外で働く時は異文化理解が大事であるということが興味深かった。
- 言葉を大きく、ポジティブにすること、目的をもって取り組む大切さを学んだ。
- グランディア芳泉の社長の話がおもしろく、夢を見つける際の大切なポイントや海外に視野を広げるための考え方について知れた。



ふくいグローバルサークル（FGC）「第2回企業との交流会」実施報告

- 1 実施日 令和7年12月13日（土）
- 2 会場 福井県国際交流会館 地下1階 多目的ホール
- 3 日程 13：30～13：40 開会、あいさつ、日程説明
13：40～14：40 企業の業務内容の説明
14：40～14：55 休憩
14：55～16：05 社員と高校生との交流会
16：05～16：10 ディスカッションの共有
16：10～ 終了、アンケート
- 4 参加企業 ・スタイル・オブ・ジャパン株式会社 ・ふくいヒトモノデザイン株式会社
・福井鋳螺株式会社 ・三谷商事株式会社

5 参加者の感想（一部抜粋）

- ・ 福井の魅力を世界に発信しようとしている話を聞き、魅力を伝えていく大事さを知った。
- ・ 自分の意見を交換し合うことは滅多にないのでとてもいい経験だった。
- ・ 自分とは違う価値観を持っている人の意見を知ることができた。
- ・ 自分たちが交流できるだけでなく、国同士の関係も考えるのが大事だと知った。
- ・ ワークショップで、ターニングポイントの話や将来の話をして、自分の可能性について視野を広げることができた。
- ・ 多くの企業が海外と繋がってきていることを知った。
- ・ 留学の良さや行動の大切さを講師の方自身の目線で話してくれて、様々な考えを知れた。
- ・ 「出る杭は伸ばす」という言葉。出る杭は打たれるという言葉しか聞いたことがなくて、優秀だったらどんどん伸びればいいと解釈できた。
- ・ 自分からやりたいこと、興味のあることにどんどんチャレンジするべきだということが印象に残った。
- ・ 自分で伝える力が大事で、わかりやすく伝えるとより良いということが印象的だった。
- ・ 海外に行ってみることはすごくいい経験になると感じた。
- ・ 福井は知名度が全体的に低いところが欠点だが、そのことを活用して戦略を立てていたと話していたことが印象深かった。
- ・ 海外で働くにあたって最も重要だと感じていることは、言語力ではなく異文化対応力であるという話が印象に残った。とにかく言語力が必要だと考えていたので、文化への理解がとても大切だということは、自分にとってとても新しい視点だった。

